

関西国際空港 T1リノベーション ～2025年春 グランドオープンに向けて～

2024.8.26

Shaping a New Journey



目次

 T1リノベーションの全体概要

 これまでの動き (Phase1・Phase2)

 Phase 3 について (新保安検査場、新入国審査場、新国際線ラウンジ)

 今後のスケジュール



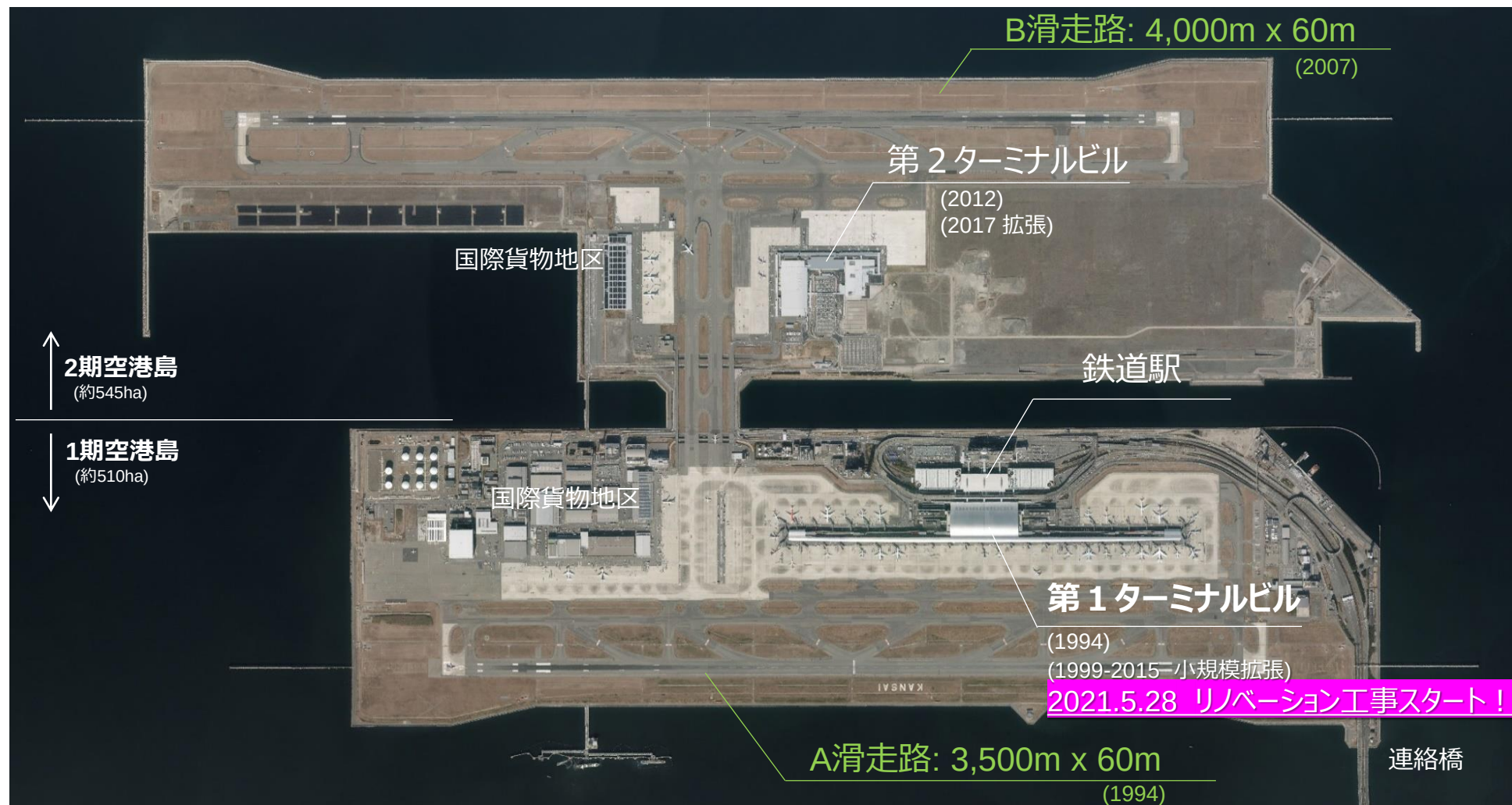
T1リノベーションの全体概要

Thank you, Anniversary



● 関西国際空港の整備経緯

※2024年9月4日で開港30周年を迎えます。



T1リノベーションの全体概要

基本コンセプト

～KIX Terminal 1の再設計～

国際線
キャパシティ拡大

エアサイドエリアの充実

旅客体験の向上

- ・ 国際線/国内線エリア配置の見直し
- ・ 国際諸施設の中央集約化
- ・ ファストトラベルの推進
- ・ ランドサイド/エアサイド比率の見直し
- ・ 商業エリアの充実
- ・ 旅客動線の見直し
- ・ ユニバーサルデザイン
- ・ 天井、エスカレータ等の耐震補強

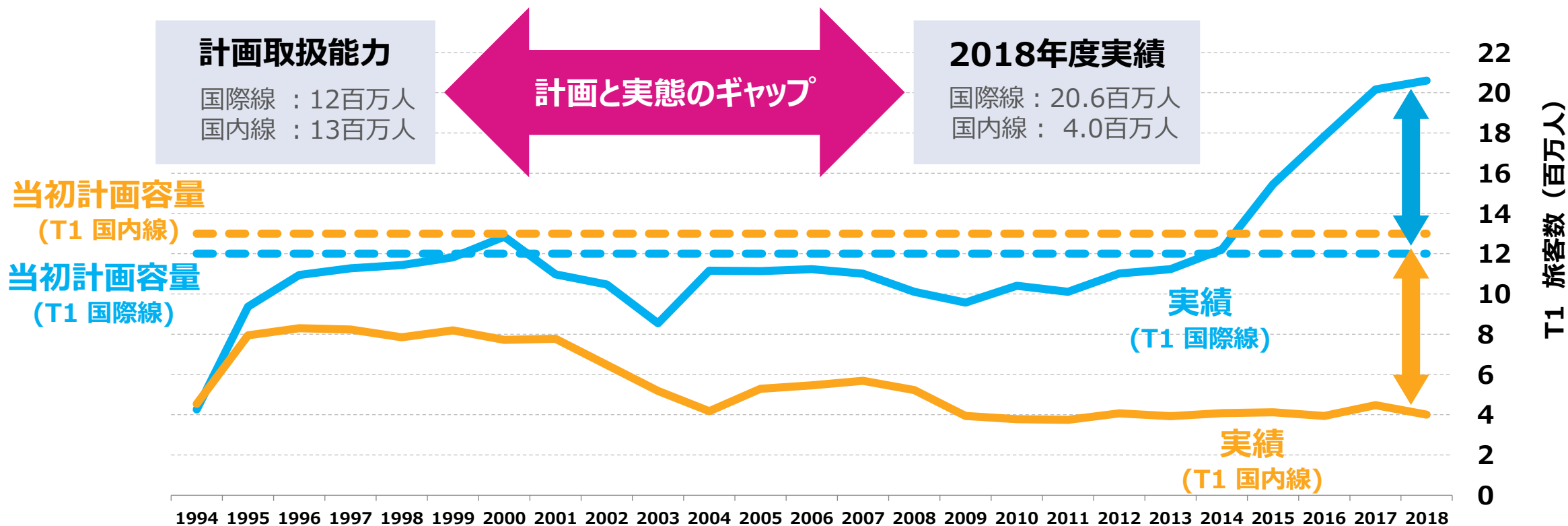


T1リノベーションを中心に、関西国際空港全体で約4,000万人の国際線キャパシティを創出

*2018年度：国際線旅客約2,300万人

国際線キャパシティの拡大に向けて

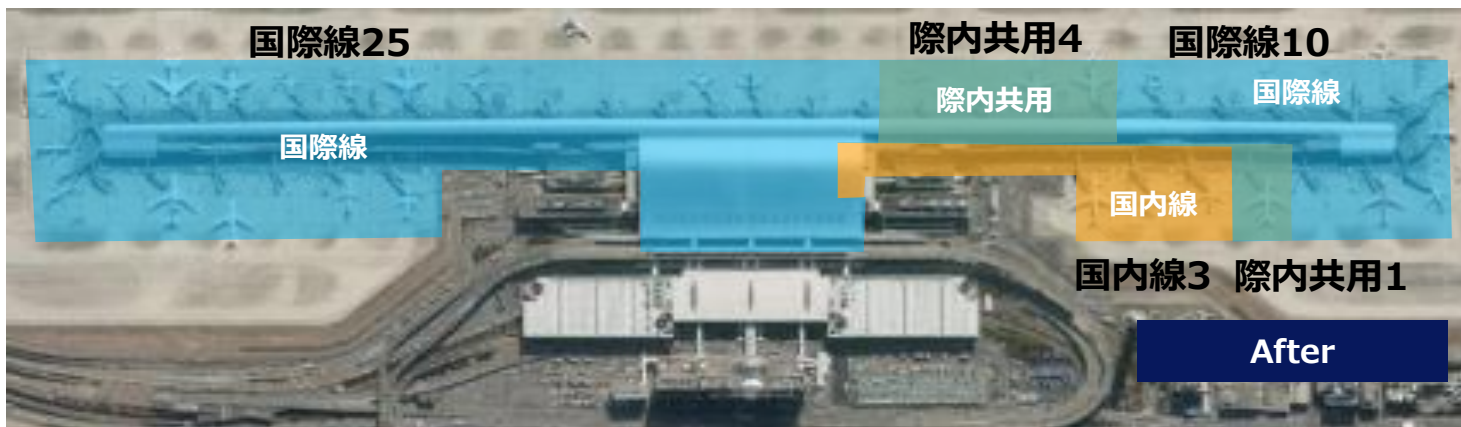
第1ターミナルビルの運用状況



ギャップを解消し、既存のターミナルビルを最大活用

国際線キャパシティの拡大に向けて

国際線/国内線エリア配置の見直し



国際線
南北一体運用

可能なレイアウト

国際線ビル内面積

+ 25%

国際線使用可能スポット

+ 6 スポット (34 ⇒ 40)

国際線出発エリア面積 (中央部)

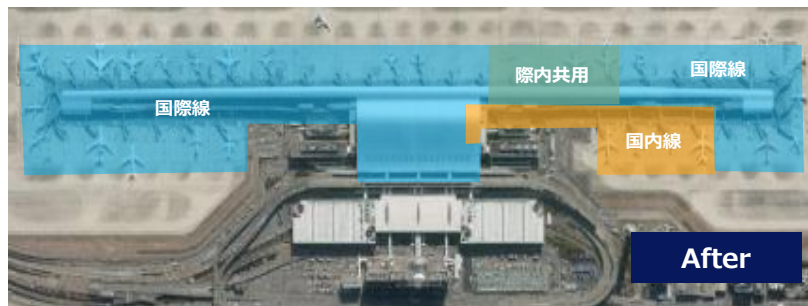
+ 60%

国際線キャパシティの拡大に向けて

Phase 1

(2022年10月)

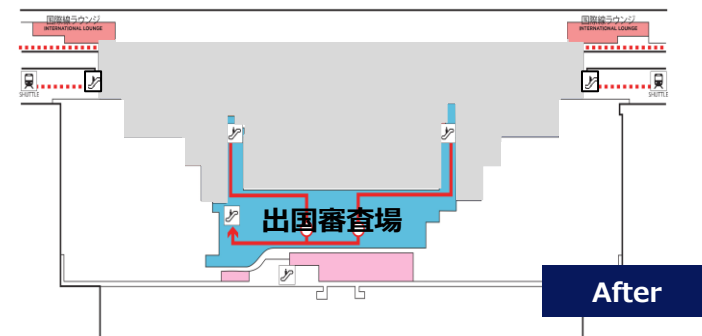
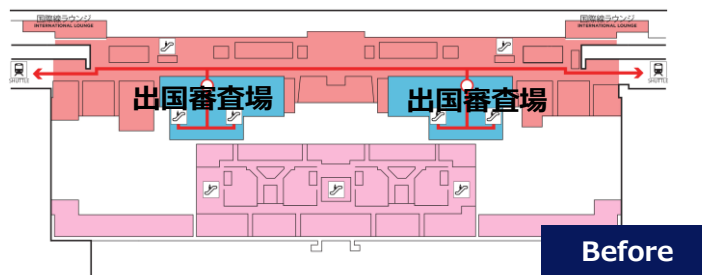
- ・ 国際線/国内線 配置の見直し
- ・ 国際線スポット増
- ・ 税関検査場を中央に集約



Phase2

(2023年12月)

- ・ 出国審査場を中央に集約

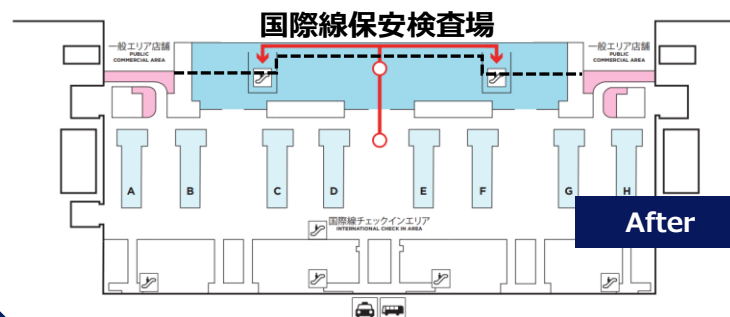
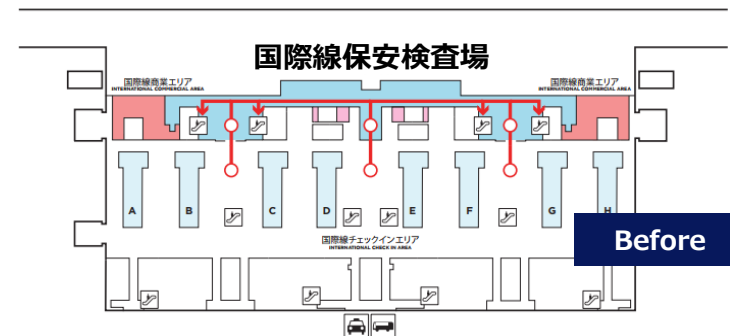


Phase3

2024年9月 保安検査場先行オープン

2025年春 グランドオープン

- ・ 国際線保安検査場の集約・拡張
- ・ 国際線入国エリアの移設

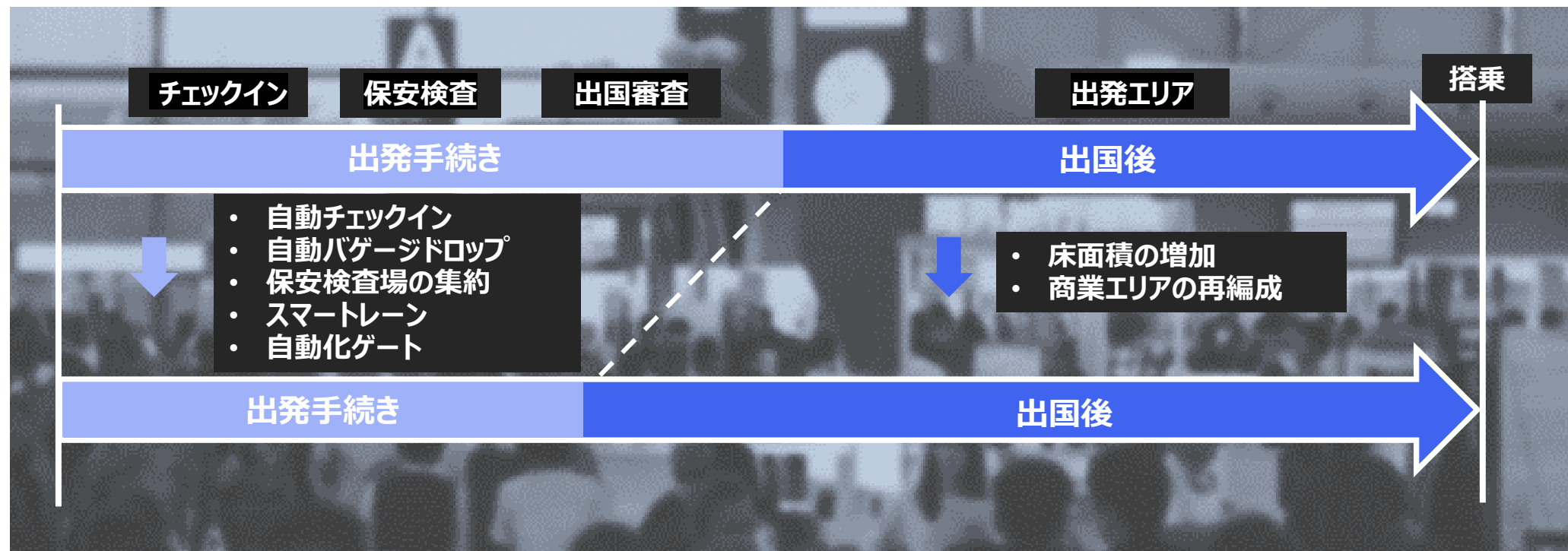


- ・ バゲージハンドリングシステム (BHS) 更新
- ・ チェックインカウンターの増強

大阪・関西万博に向け、
国際線キャパシティの創出
など主要機能を完成

エアサイドエリアの充実・旅客体験の向上 ～出発までの快適な時間をより多く～

ランドサイド/エアサイド滞在時間の変化



※グラフは滞在時間のイメージです。

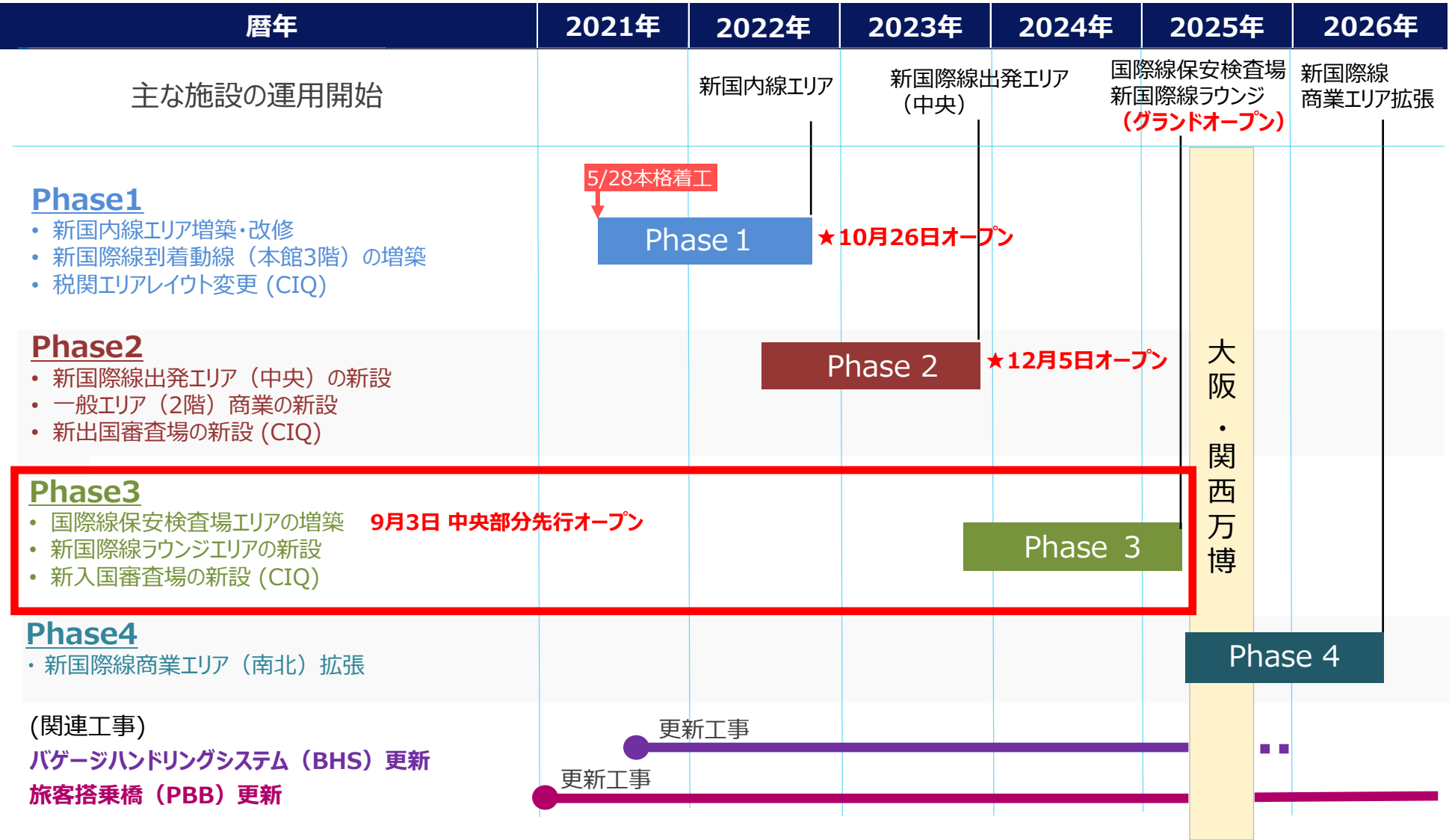
ファストトラベルの導入、出発エリアの拡大により、
お客様に快適な時間をより多く

T1リノベーション後の新国際線出発エリア

ウォークスルー型免税店を通過後、集約された商業区画を計画



全体スケジュール



今後の関西地域のインフラ整備

淀川左岸線延伸工事（2027年一般開通予定）

※2025年大阪・関西万博開催時 新大阪駅・大阪駅
から万博会場までシャトルバスルートとして暫定開通

 **KOBE**

大阪・関西万博（会場：夢洲）
開催期間:2025年4月13日～10月13日
※2030年 大阪IR開業予定

 **KIX**

（2025年春第1ターミナルビルグランドオープン）

 **ITAMI**（2020年8月グランドオープン）

北大阪急行延伸工事（2024年3月23日開通）

うめきたエリア：

オフィス、ホテル、中核機能、商業施設、都市公園、住宅を
有した世界をリードするまちづくり

- うめきた新駅（JR大阪駅新改札口）2023年3月18日
- グラングリーン大阪 先行まちびらき 2024年9月6日

なにわ筋線開通工事（2031年開通）

ミナミエリア：食・文化・娯楽の発信

関西国際空港⇄大阪駅間のアクセスが向上
うめきた新駅開業により、特急はるかが大阪駅に停車
（2023年3月18日）



これまでの動き (Phase1・Phase2)

Phase1の振り返り（2022年10月26日オープン）

● 国際線/国内線エリア配置の変更

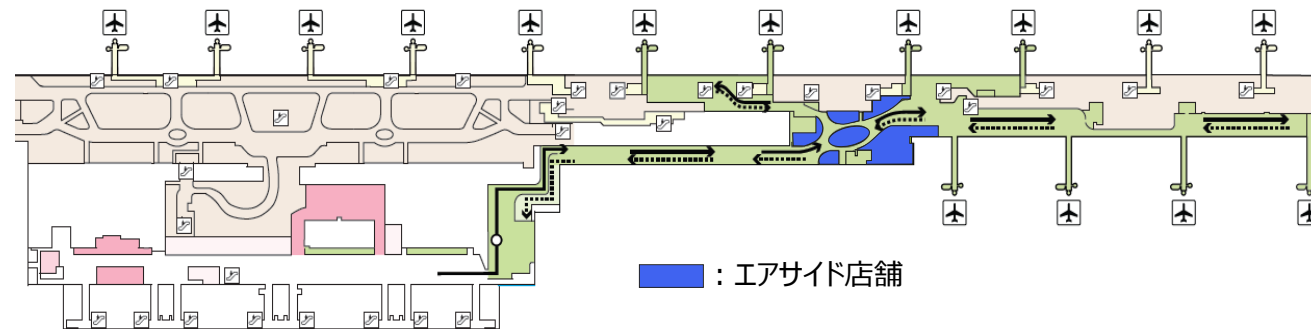
- 国際線スポット増（34スポット → 39スポット）

● 新国内線エリアオープン

- 国内線出発口を1か所に集約
- 保安検査後のエリア（エアサイド）に6店舗を出店
- ANA、JALのラウンジ利用者向けの共用ラウンジをオープン

● 国際線到着口の変更

- 国際線到着口のを中央寄りに変更
- 国際線到着時の税関検査場を中央に集約



Phase 2 の振り返り（2023年12月5日オープン）

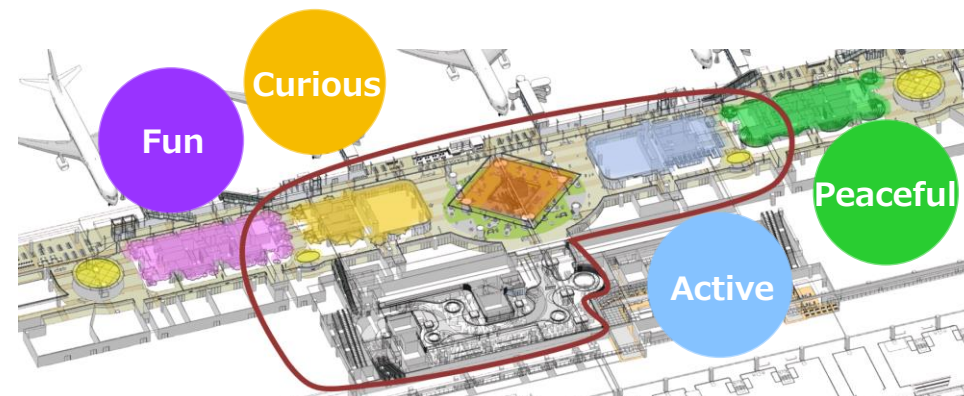
● 出国審査場の中央集約

- 南北の出国審査場を中央に集約し、温かみがあり、日本らしさを感じられる空間に



● 日本の国際空港として最大規模となるウォークスルー型免税店

- 約2,500㎡を誇るエリアに日本免税店では初出店となるブランドや定番のお土産菓子など豊富なラインナップをそろえた総合免税店
- 店内には事前予約商品の受け取りカウンターやお菓子を専用端末で注文する新システムを導入
- コンセプトはNature & Culture Harmony（日本らしい自然と文化の調和）



● PLAZA・4 MOOD

- PLAZAには解放感のあるウェーティングスペースを配置し、日本の旅・KIXを強く記憶に残すラストシーンの場を提供
- Moodエリアにおいては、お客様の気分に合わせて過ごせるよう飲食店と物販店が混在した商業エリアを展開





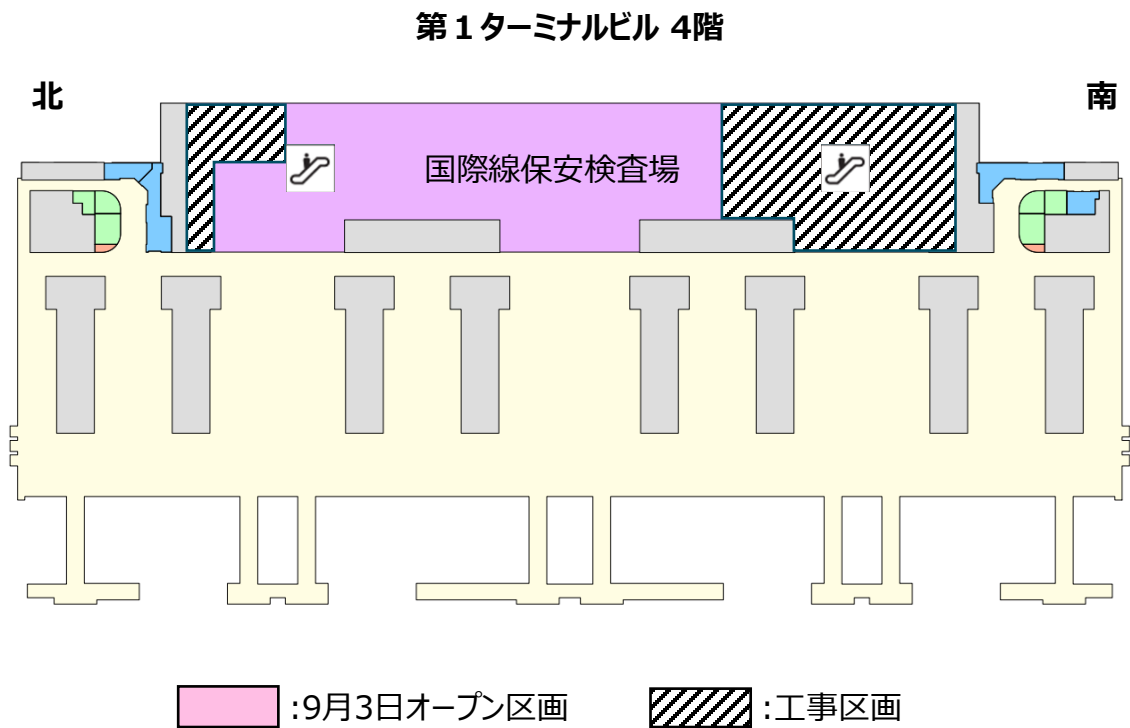
Phase 3 グランドオープンに向けて

【Phase 3】4階国際線保安検査場

- 4階国際線保安検査場の集約と拡張
- スマートレーンを増設し、より早く、より快適でスムーズな保安検査
- 2024年9月3日に中央部先行オープン

	Before	中央オープン時	グランドオープン時
面積	約3,500m ²	約3,600m ²	約6,300m ²
レーン数	16台	16台	18台※
レーン長さ	15m	20m × 10 15m × 6	20m × 10 15m × 8

※将来的に22台まで増設可能



処理能力：約4,500人/時 → 6,000人/時

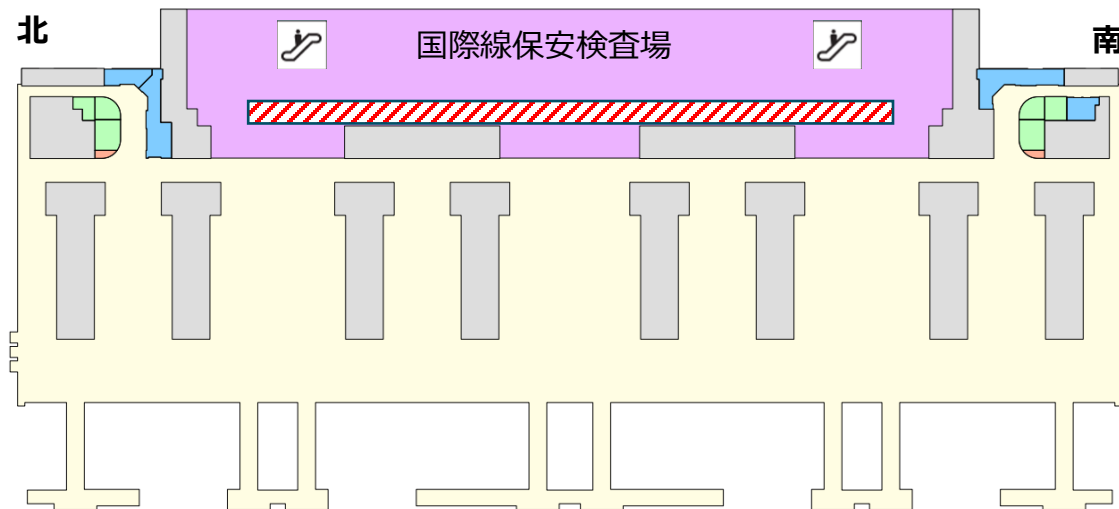
※グランドオープン時。

【Phase 3】4階国際線保安検査場

キューイングマネジメントシステム（待ち行列管理システム）

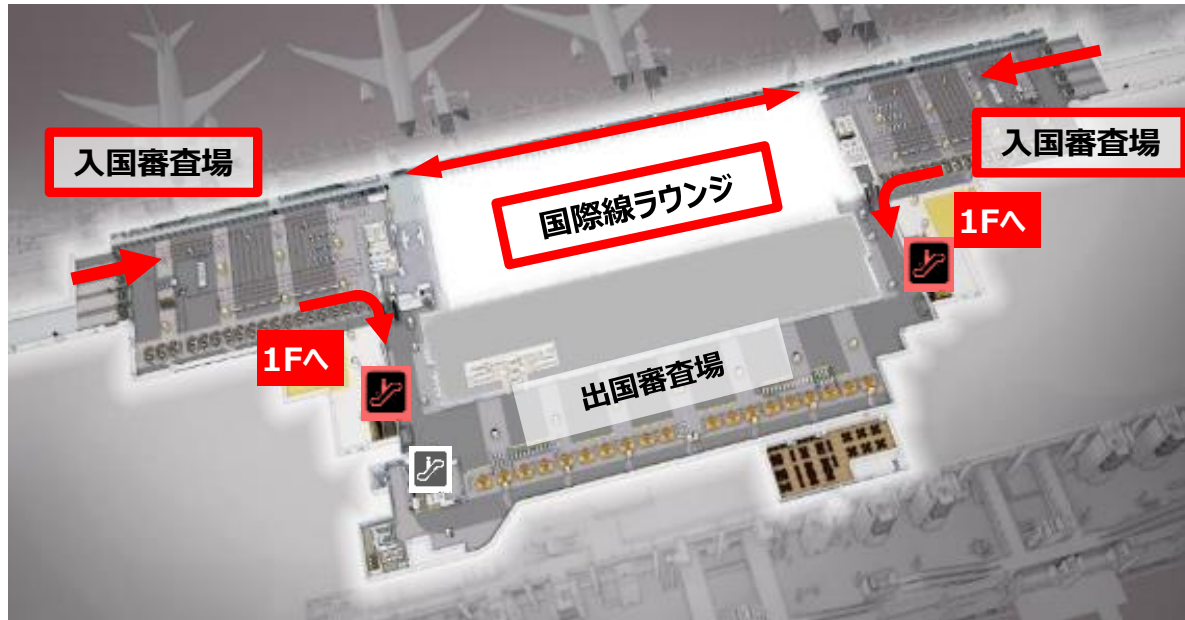
- 日本初導入
- お客様の流れを把握するデータをリアルタイムに活用し、自動でフラッパーを動かし動線を切り替えるシステム。お客様の数や状況に応じ、自動的にかつ効率的に保安検査レーン(スマートレーン)に誘導することが可能

設置位置



【Phase 3】3階入国審査場

- 国際線入国エリアを3階に移設し、開放的な空間での入国手続き
- 接続廊下を通じた一体的な運用
- スムーズな入国審査/検査を目指した審査場レイアウト

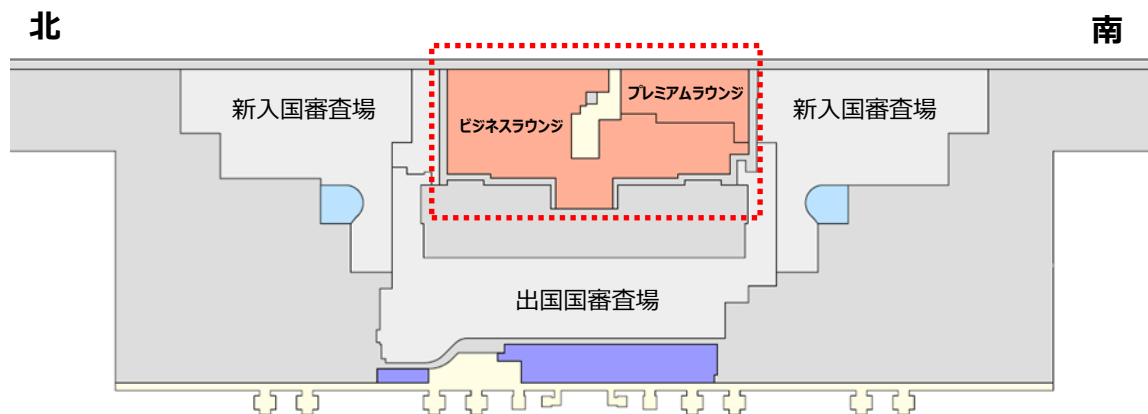


【Phase 3】国際線ラウンジ

- 国際線ラウンジを3階にリニューアルし、1ヶ所に集約
- ターミナル 1 に就航している航空会社のラウンジ利用者向けの共用ラウンジ
- スペースの効率化によってより広い空間を提供
- KIXにしかないラウンジを目指して「古都と都市」をキーワードとしたビジネスラウンジと、最上級クラスを対象としたより高級感を提供するプレミアムラウンジの2種類のラウンジを運営



第1ターミナルビル 3階

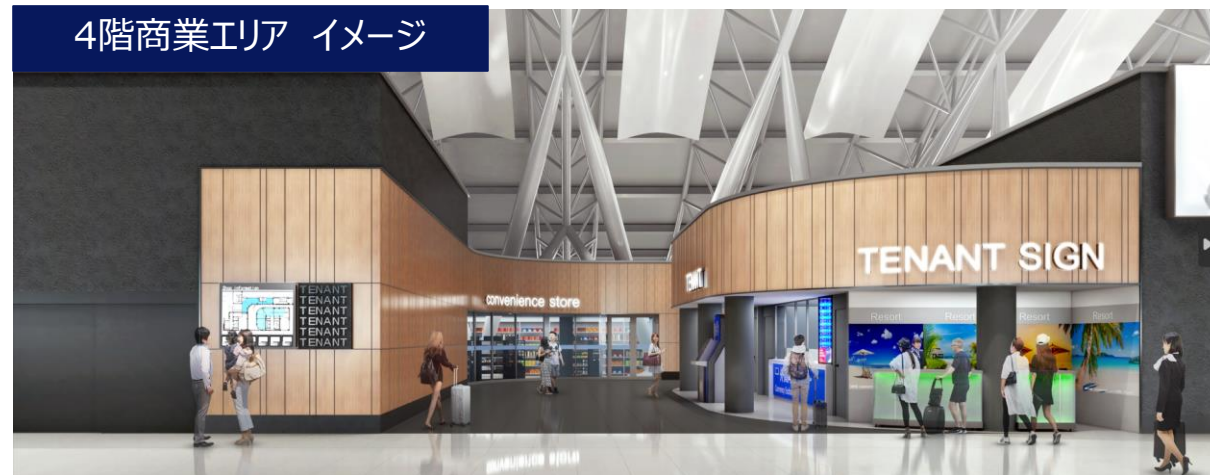


面積：プレミアムラウンジ 約800m²
ビジネスラウンジ 約2,970m²

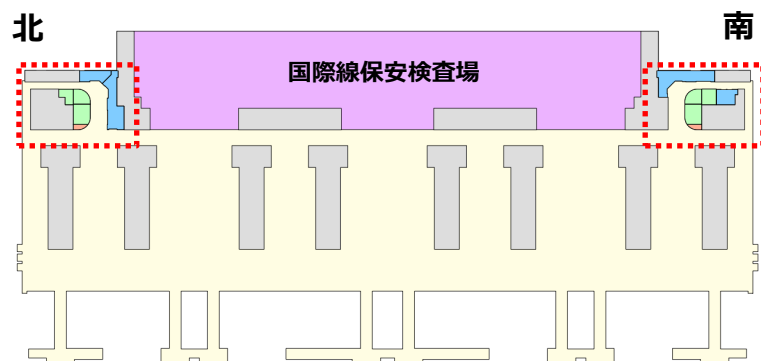
【Phase 3】新商業エリア

- 4階国際線出発エリア、3階国際線到着エリア、2階フードコート「Tasty Street」内の3箇所に計13店舗がオープン
- 飲食、物販、免税、サービス施設などご利用になるお客さまの幅広いニーズに対応

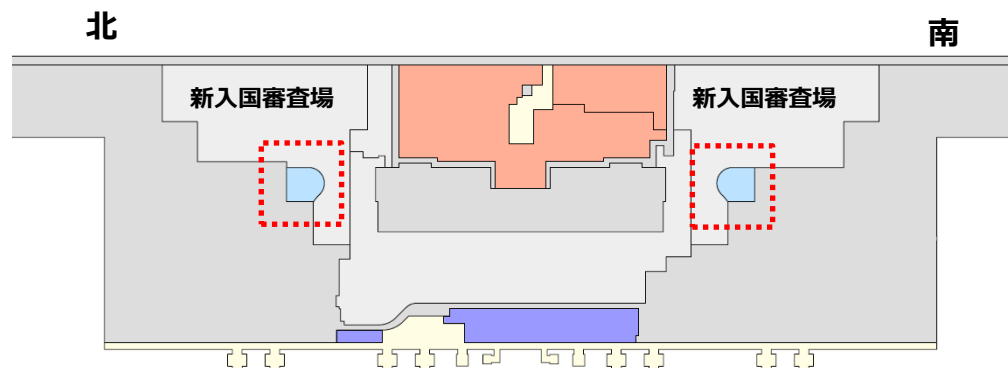
4階商業エリア イメージ



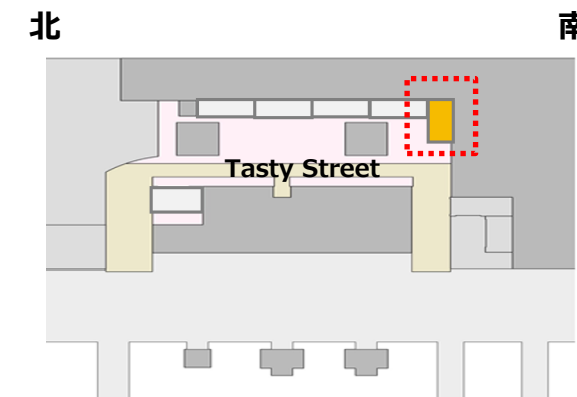
第1ターミナルビル 4階



第1ターミナルビル 3階



第1ターミナルビル 2階



T1リノベーション 今後のスケジュール



※パースはイメージです